大好き！壱岐！紹介「しまおこし人」

vol.6

郷ノ浦町・赤木 正明さん

「大好き！壱岐！紹介『しまおこし人』」、このコーナーは、「愛する壱岐の島の島おこし、今以上に住みよい島になっていくために、何か役立てる自分でありたい」と、様々に活動や行動を起こしている若者や市民を紹介するコーナーです。

＊

第6回目となる今回は、「自分たちのバンドの演奏が、聴きに来てくれる人たちに楽しんでもらえ、ライブの時間が明日への力になるような、素敵な時間になれば」「音楽には力がある。地域振興策の一つになるはず」などと話した郷ノ浦町、衣料品店「宝亀」の宝亀継吾さんからの紹介で、町内で古くから郷ノ浦、壱岐の島の軌跡を写真という媒体を通して見つめ続けている赤木写真館の4代目の代表・赤木正明さん。

古い写真は島の文化遺産

初代・赤木博明氏の頃から撮りためてきた写真や持ち込まれた写真はとても貴重で、郷ノ浦はもちろん壱岐の変化の様子が一目でわかる重要な資料でもあり、島の財産と思っている。大きく言うと島の文化遺産。モノクロではあるが、汚れたり色あせて映り込んでいる被写体がわからなくなる前にデータ化して残していきたい。「温故知新」、きっと島のこれからに役立つはず。

レンズを通して

幼児から児童、生徒、成人、結婚と、それぞれの節目ごとに記念の写真を撮らせてもらっているが、レンズを通して見る島民の素直さ、はにかむ様子は、自分がこの仕事を始めてからも変わらないように感じる。特に結婚式などの慶事、記念日の写真では、最高の笑顔を写したい、最高の記念の1枚にしたいとの思いを込め、雰囲気、背景などとのバランスに注意しながら撮影している。この職業は、壱岐の文化の1面を担い、役立っていけるものと信じて仕事をしている。

ロックバンド

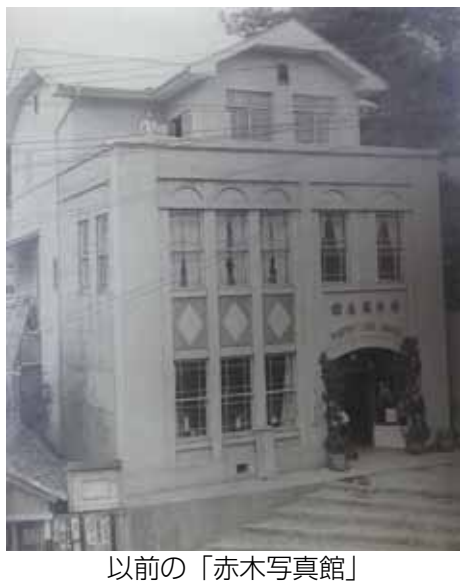
中学生の頃にアメリカのハードロックグループ「ヴァン・ヘイレン」（2007年、ロックの殿堂入り）にあこがれてギターをはじめ、現在はベースギターをメインに4人編成のバンド「ジ・アドバンス」で音楽を楽しんでいるそう。壱岐ロックハウスという団体に加盟して、機材を共有して勝本町、B&G体育館の部屋を借りて練習している。ロックハウスには色いろなジャンルのバンドが参加していて楽しいので、「ライブの時は是非皆さんで聴きに来てください」。

新旧の風

店には昔懐かしいレトロなカメラが飾られ、映した写真をワイヤレスで飛ばし、iPadですぐに見る事ができ選べるサービスをはじめるなど、職業の写真を中心に、人物はもちろん島の街並み、音楽も合わせ、新旧の風が吹いているように感じることがあり、それらを今あるイベントなどを利用しながらバランスよく結び付け、街のムードというか盛り上げ策につなげていきたいと考えている。

これからも写真を通して、街や島の様子を見続け残していきたい―とも。

今も変わらぬ「赤木写真館」


以前の「赤木写真館」

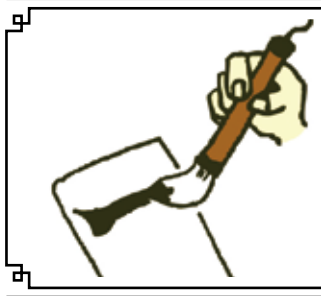
《俳句》わかば俳句

あめんぼう水上滑走舞の如　大島美代子
老鶯や継ぐ子なき家の墓を守る　柳澤 幸子
里山の夫婦の畑時鳥　品川 京子
色付きて孫の来る日を待つトマト　高田 英子
明け放つ窓いっぱいに初夏の風　滝 きみ子
珍しき花の挿し木にたくす夢　坂野 幸子
七夕の願ひ読む母うなづけり　野田 隆也

《壱岐新報川柳》壱岐川柳会 6月 兼題「植える」

篠崎絹代 選

幼き日の田植え団子が懐かしい　仙京
退職し場所とりあって野菜植え　知絵
せめても贅沢庭に花育て　甫釧
遠路来し都忘れを植え替える　幸子
植樹祭友と咲かそう鍬の音　ふみこ
廃校の庭に記念樹孤に耐える　漣
植田廻りまずは順調風清か　春菜
早苗饗に祖父の祀りの唄供え　漣
原爆原発いらぬトマトの苗植える　篤世
植え終えて青田の風と早上りと　篤世
来春も生きてるつもり植える苗　ひろこ
豊年の儀式を神子が田植する　ふみこ
奉納米早乙女揃う田植祭　久恵
花言葉知ったつもりで植えている　ゆたか
泥んこの食育学ぶ田植綱　伸幸
私だけの記念日赤い薔薇植えた　華子
控え目に植えたアイビー庭のボス　洋子
仏壇へ供えるための菊を植え　扶巳
女児誕生桐の木植える親心　伸幸
佳　田植団子夜なべの母が甦る　伸幸
佳　記念樹の幾年先を夢に見て　篤世
人　鬼灯を植えかえ祖母の盆が来る　海秀
地　菜の花を植えては春の序曲待つ　健人
天　木を植える海が元気になるように　伸吾
軸吟　植木屋は草木の話良く聞いて



絵や写真、書、詩、俳句、短歌、川柳など、多くの作品をお待ちしています。ふるって応募して下さい。お待ちしています。

第62回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です

＜行動目標＞
1 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう
2 犯罪や非行に陥らないよい地域社会で支えよう
3 これらの点について、地域社会の理解が得られるよう協力しよう

＜重点事項＞
「立ち直りを支える取り組みについて理解促進」
「就労・住居等の生活基盤づくりにつながる取組の推進」

人権の花、ヒマワリ

壱岐新報 広告掲載の募集です。

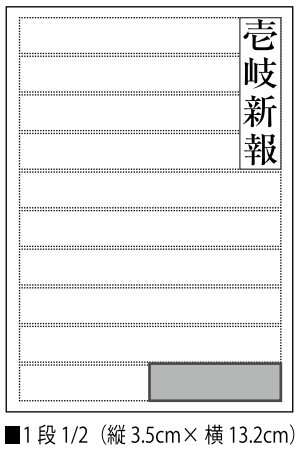
※下記は一例です。他の枠もあります。
カラー掲載は1.5倍の料金になります。

選べるキャンペーン実施中

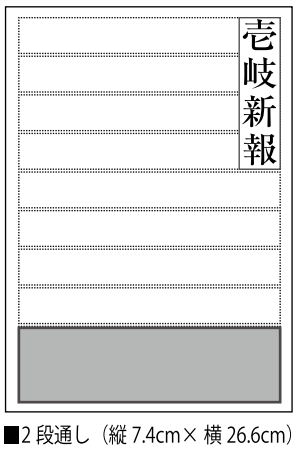
モノクロ料金でカラー掲載が出来ます。

モノクロ料金で2回掲載出来ます。

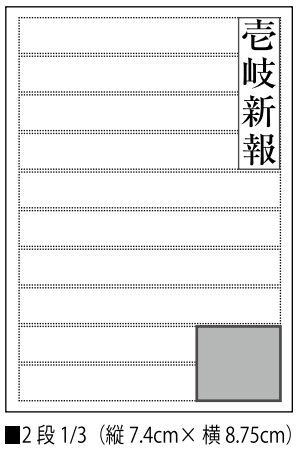
詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。



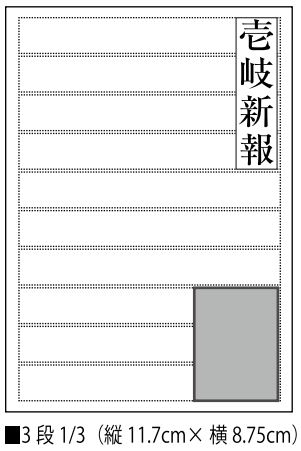
■1段1/2（縦3.5cm×横13.2cm）
掲載料・・・6,510円（税込）



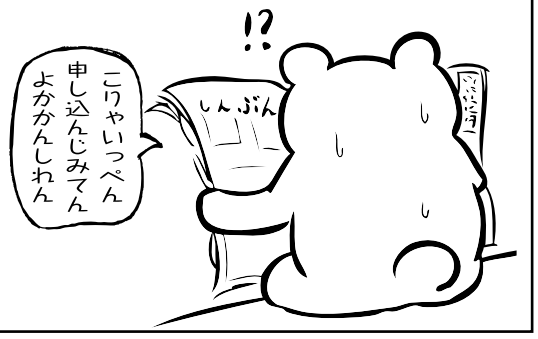
■2段通し（縦7.4cm×横26.6cm）
掲載料・・・21,735円（税込）



■2段1/3（縦7.4cm×横8.75cm）
掲載料・・・8,715円（税込）



■3段1/3（縦11.7cm×横8.75cm）
掲載料・・・11,340円（税込）

お問い合せ・お申込みは

壱岐新報社
壱岐市郷ノ浦町片原触247-7
TEL・FAX **0920-47-3196**
E-mail : ikisinpou@oboe.ocn.me.jp